

日本の食が危ない！

コメ
～米不足と食の安全保障～



講師 東京大学大学院特任教授

すずきのぶひろ
鈴木宣弘さん

とき

**2025年
9月19日(金)
18:30～20:15**

(開場 18:00)

ところ

**イヅカ
コスモスコモン
中ホール**

*** 手話あり * 入場無料**

*** 託児あり** 託児の**申込みは9月12日までに連絡先までお電話ください**

*** 市内工事業者の方へ** 本講演会は令和8年度飯塚市競争入札参加者(市内工事)の格付における主観点数加点対象です

主催 NPO法人 人権ネットいづか・飯塚市

連絡先 TEL & FAX 0948-24-7582

HP



☆おさそい



鈴木さんは常々言っています。「世界で最初に飢えるのは日本」
食べることは、命をつなぐいとなみです。どんなに技術が進歩しても
食べることができなければ、人の生活は崩壊し飢餓におちいつてしまうでしょう。
日本の農業従事者の平均年齢は 69.2 歳（2024 年）です。その人口が減少している現在
あと 10 年したら誰が日本の農業を担うのでしょうか？さらに、今回の「コメ不足」で、
様々な問題が判明しました。また鈴木さんによると、野菜の自給率は 80%といわれますが、
種や肥料の 90%が輸入。物流が停止すると野菜も 8%しか自給できないとのこと。
農業問題は、農家の問題である以上に消費者の問題、国民全体の問題です。世界的規模での
異常気象、ウクライナ危機で食料争奪戦が世界では激化しています。もはや食料は輸入すれ
ばいいという考えは過去のもので、現在の日本の農業の危機、そしてそこから抜け出すに
はどうすべきか示唆に富んだお話を聴けることと思います。日本の食料を安全に守るため
にはどうすればいいのか、皆様とともに、考えたいと思います。ぜひご参加ください。

☆鈴木宜弘さん(東京大学大学院特任教授)プロフィール

1958 年三重県生まれ 東京大学農学部卒業後、農林水産省に入省

2006 年から東京大学大学院教授。

現在、東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授・名誉教授

一般財団法人「食料安全保障推進財団」理事長

著書



「このままでは飢える」(日刊現代)

「世界で最初に飢えるのは日本」(講談社)

「農業消滅」(平凡社新書) 他、著書多数



☆市内工事業者の方へ



・この研修会は、令和 8 年度の飯塚市における競争入札参加者（市内工事）の格付けに
おいて、主観点数の加点対象となる研修会です。令和 8 年度に市内工事部門に登録を希
望される事業者の方が参加された場合は、加点されます。

* 研修会に複数人参加された場合でも、加点は 1 回で 2 点となります。

* 対象となる研修会は複数回開催しますが加点は最大で 6 点となります。